

第9回浦昭二記念賞選定記

情報システム学会 浦昭二記念賞選定委員会委員長 杉野 隆

はじめに

2024年の第9回浦昭二記念賞選考では、例年通り2024年7月1日に全会員宛でのメーリングリストによって表彰候補者の推薦を依頼し、9月15日に応募を締め切った。その結果、論文賞候補1件、実践賞候補5件の推薦を頂いた。本委員会では慎重な審査を行った結果、実践賞候補4件を選定することを決定した。昨年11月の理事会で審査結果が承認され、第20回全国大会・研究発表大会(11月30日、於種智院大学)において表彰式が行われた。本稿では、表彰内容の紹介(推薦受付順)と委員長としての雑感を述べる。

第9回表彰の内容

実践賞1

- ・ タイトル: 情報化社会におけるセキュリティ教育の推進
- ・ 表彰対象者: 内田勝也氏, 工博, 情報セキュリティ大学院大学名誉教授
- ・ 表彰理由: 30年以上に亘る情報システム開発・維持の経験を背景に、日本のセキュリティ教育に貢献し、また、情報セキュリティ大学院大学教授として、研究者の育成を行ってこられた(2004年~2010年)。他に、日本心理学会認定セキュリティ心理学研究会代表者(2012年度~2023年度)、横浜市情報セキュリティ管理補佐監(2007年9月~2015年3月)として自治体実務にも多大な貢献をされてきた。

実践賞2

- ・ タイトル: チームワークと多様な働き方を支援する会社を設立、経営
- ・ 表彰対象団体: サイボウズ株式会社(代表取締役社長・青野慶久氏)
- ・ 表彰理由: チーム作業を支援する情報共有ツール「サイボウズ」などの提供によって、情報システムの構築や利用、業務支援をより身近かなものとし、企業や自治体の業務推進に貢献され、また、情報システムの構築や利用、業務支援をより身近なものとし、企業や自治体での推進に貢献された。また、災害支援プログラムとして、社内チームが災害時のデータ入力など後方支援のボランティア活動を行っており、その成果として、「プラチナ企業ランキング」(日本経済新聞社でプラチナ企業第1位にランキングされた(2024年))。

実践賞3

- ・ タイトル: 情報システム学に基づいた情報システム人材育成の実践
- ・ 表彰対象団体: 青山学院大学社会情報学部(学部長・宮川裕之氏)
- ・ 表彰理由: 情報システム学の教育体系(浦昭二・細野公男・神沼靖子・宮川裕之・山口高平・石井信明・飯島正共編著 情報システム学へのいざない: 人間活動と情報技術の調和を求めて(に準拠))に基づいた高度情報システム人材教育プログラムADPISA「青山・情報システムアーキテクト育成プログラム」を2016年に開始された。2019年度からは社会人対象に履修証明プログラムとして教育実践を開始されている。2022年度文部科学省「成長分野における即戦力人材産出に向けたリカレント教育推進事業」に採択された。

実践賞4

- ・ タイトル: 農作物被害対策における情報システム学の理念にもとづく実践
- ・ 表彰対象者: 江口祐輔氏, 博士(学術), 麻布大学生命・環境科学部教授・フィールドワークセンター長, 美郷バレーおおち山くじら研究所長
- ・ 表彰理由: 野生鳥獣による農作物被害に関し、野生動物の視点からヒトと動物の共存環境(情報システムとして把握)を明らかにし、問題を起こす本質的なメカニズムを究明することによって、動

物行動学に基づく抜本的な問題解決策を考案し、地域住民が自ら参加し、自律的、継続的に農作物被害を改善することを目指されている。この研究実践活動は情報システム学の実践と言える。本学会 HIS 研究会で、「動物行動学からわかる動物が見ている世界と住民が主体となった農作物被害対策の仕組み」について講演された (2024/03/11)。

これまでの表彰実績

| 回 | 論文賞 | 特別賞 | 実践賞 | 功績賞 | 計 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|----|
| 第9回 (2024年) | | | 4 | | 4 |
| 第8回 (2023年) | | | 1 | | 1 |
| 第7回 (2022年) | | | 2 | | 2 |
| 第6回 (2021年) | | | 1 | | 1 |
| 第5回 (2020年) | 1 | | 1 | | 2 |
| 第4回 (2019年) | | | | | 0 |
| 第3回 (2018年) | | 1 | | | 1 |
| 第2回 (2017年) | | 1 | | 1 | 2 |
| 第1回 (2016年) | | | 2 | | 2 |
| 計 | 1 | 2 | 11 | 1 | 15 |

注記 これまでの表彰内容の詳細については、学会サイト『浦昭二記念賞』
<https://www.issj.net/gaiyou/urashouji-kinen.html> を参照されたい。

雑感

昨年度と同様に、会長による表彰状、盾及び賞金の手渡し授与、記念写真撮影を滞りなく行いました。受賞者のスピーチについては、時間の都合上、懇親会に出席されないサイボウズ社1件を表彰式で、他3件を懇親会の席でお願いしました。また、本年5月に開催予定のシンポジウムでご講演いただく予定です。御期待ください。

2023年2月に浦昭二記念賞選定が改定され、論文賞受賞者には、表彰状、盾、賞金5万円に加え奨励金5万円を授与することになりましたが、残念ながら今年度も論文賞表彰はありませんでした。なお、表彰に至らなかった2件は、論文賞候補、実践賞候補各1件でした。

次の第10回(2025年)には、会員の皆様から、論文賞を含めさらに多くの表彰候補者の推薦をお願いします。

以上